

業務改善

A-5①

① 時代的・社会的要請

ニーズを捉えた
大学

・SDGs
・温暖化

働き方改革

・多様性
・Society 5.0

・少子化
・大学教増加

② 現状 取組み事例

- ・マニュアル不足
 - 新人がマニュアル作成
 - マニュアルが更新されない
- 働き方改革
 - 残業が必須なときもある
- 学生対応の充実
 - 一日中窓口の対応
 - 窓口に出る人・出る人
- 〇ペーパーレス化
 - 紙が多い

③ 問題点

- ・マニュアルをつくる文化がない
- ・働き方改革が浸透していない
- ・同じ内容の対応に時間をとられる
- ・データで保存したけど保存領域不足

④ 問題点の要因

- ・マニュアル作成の余裕がない
- ・ただマニュアルの必要性がわからない
- ・働き方改革の理解が浅い
- ・学生がカバンやポータブルを利用してない (そのメリットが伝わっていない)
- ・データの整理ができていないので、ムダなデータがある

教職協働はたらき方改革

A-5班

時代的・社会的要請の正しく
働き方改革

- 労働時間の削減
- 非正規・正社員格差
- 高齢者就業促進

大学の対応状況における問題点とその要因

- 教員を支援していない
- 教員の業務内容を把握していない

- 大学の対応状況における時代的・社会的要請への対応状況
- 事務職員に対する取組み (有給休暇義務化など)
- 教員に対するアプローチがない

大学が取り組むことの方向性・目的
教員の研究活動の充実

- ⇒ 学生・大学・社会への還元
- そのために、教員の業務内容を事務職員と共有し、把握する。

事業や方策の提案

- 教員の業務共有システム
- 教員アンケートシステムの構築
- データの蓄積と分析

- 課題
- プライベートに応じた公開範囲決定
- 重要度・緊急度マトリクスでの随時修正
- 教員への普及方法

